

オオイタドリ 福井県にも産す

渡 辺 定 路

オオイタドリ *Polygonum sachalinense* Fr. Schm. の産地は、富山県の常願寺川以北であったが、1969年6月15日の博物館の芦見方面の採集会で、籠谷部落近くの道路横のイタドリ群落の中にひと際大きいオオイタドリを発見した。林先生は九月上旬に花、果実のついたものを採集してこられたので完全標本を作ることができた。

イタドリとの相違点は、葉は大形で、粉白を帯び、とくに下面は著しく粉白色となる。

葉鞘は乾いた膜質で2~7cmの長さで非常に大きい。

